

みずほCustomer Desk Report 2017/09/28号(As of 2017/09/27)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.38 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.39	1.1784	132.47	0.9696	1.3440	0.7877
SYD-NY High	113.26	1.1795	132.73	0.9770	1.3461	0.7888
SYD-NY Low	112.23	1.1717	132.10	0.9688	1.3364	0.7836
NY 5:00 PM	112.80	1.1744	132.50	0.9722	1.3385	0.7848
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.89/10.265		25RR	1.238	Yen Call Over	
NY DOW	22,340.71	56.39	債券市場			
NASDAQ	6,453.26	73.10	日本2年債	-0.1180	0.6bp	
S&P	2,507.04	10.20	日本10年債	0.0590	2.5bp	
日経平均	20,267.05	▲63.14	米国2年債	1.4707	3.5bp	
TOPIX	1,664.43	▲8.31	米国5年債	1.9055	4.7bp	
シカゴ日経先物	20,425.00	▲155.00	米国10年債	2.3103	7.5bp	
ロンドンFT	7,313.51	27.77	独10年債	0.4680	6.0bp	
DAX	12,657.41	52.21	英10年債	1.3830	5.3bp	
ハンセン指数	27,642.43	129.42	豪10年債	2.7880	1.8bp	
上海総合	3,345.27	1.69	為替市況	USD/CNH	6.6398	0.0114
USDJPY 3M Vol	9.84	0.07%	ドルインデックス	93.36	0.40	
USDJPY 6M Vol	9.84	0.08%	商品市況	CRB指数	183.861	0.46
EURJPY 3M Vol	9.66	▲0.17%	NY金	1,287.80	▲13.90	
EURJPY 6M Vol	9.86	▲0.15%	WTI	52.14	0.26	
			Dubai Spot	56.44	▲0.53	

東京	ドル円はアジア時間に安値112.23をつけたものの更なる下押しとはならず、112.39レベルで東京時間オープン。海外時間の流れを引き継ぎ112円台前半で推移していたものの、本邦実需勢のドル買いロー意識される中、112円台半ばまで上昇。米10年債利回りが2.24%近辺と小幅ながら上昇して推移したこともサポート材料となった。午後に入ると目立った材料が無い中で動意は薄く、112.30-50を中心としたレンジ推移が継続。結局、ドル円は112.52レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は112円台半ばから113円ちょうど近辺まで上昇。朝方は112.52レベルでオープン。前日のインフレFRB議長の効率的な発言を受けて、FRBによる年内利上げをさらに織り込みに行く動きから米金利、ドルが全般的に上昇。ドルが強含みに推移する中、ドル円はロンドン高値113.03まで上昇した後、112.91レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは1.33台後半から1.34台前半でレンジ推移した。朝方は1.3400レベルでオープン。序盤はドル買戻しの加速を受けロンドンドルはロンドン時間安値1.3364まで下落。その後は1.33台後半でもみ合い、ロンドン時間高値1.3430まで上昇。結局、1.3417レベルでNYへ渡った。(ロンドン-ロンドン 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	ドル円は、112.91レベルでNYオープン。予想を上回る結果となった米8月耐久財受注や公表される予定の米税制改革案への期待感を背景に、ドル円は7月14日以来約2ヶ月半ぶりに113円を突破し、高値113.26まで上昇。しかし、高寄りした米株がマイス圏に下落する中、NY時間午前10時半に公表された税制改革骨子案が法人税20%への削減や所得税の簡素化等、すでにメディアで報道された内容で目新しさや具体性に欠ける内容であったことからドル売りが強まる。8月1日以来となる2.3%台を示現した米10年債利回りが下落に転じる動きも相俟って、ドル円は112.60-80付近のレンジを巻き込みながら112.38まで下落。しかし、米長期金利が再び2.3%台を回復し、米株もプラス圏を回復する展開に、112.80付近まで反発。NY時間午後3時20分頃に始まったトランプ大統領の講演は、午前中に発表された骨子案と変わらない内容であったことから、市場の反応は限定的となり、112.80付近で推移を継続させた後、112.80レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.1745レベルでNYオープン。その後、安値1.1717をつける局面があったものの8月18日以来となるこの水準では下げ渋った。税制改革骨子案公表後の米金利下落と共にドル売りが強まる中、1.1776まで急反発したが、引けにかけて再びドル買い戻しの流れが強まり、1.1744レベルまで弱含んでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当：高田・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月27日	20:00	米 MBA住宅ローン申請件数	-	-0.5%
	21:30	耐久財受注(前月比)・速報	8月	1.7%
	21:30	耐久財受注(除く輸送用機器・前月比)・速報	8月	0.2%

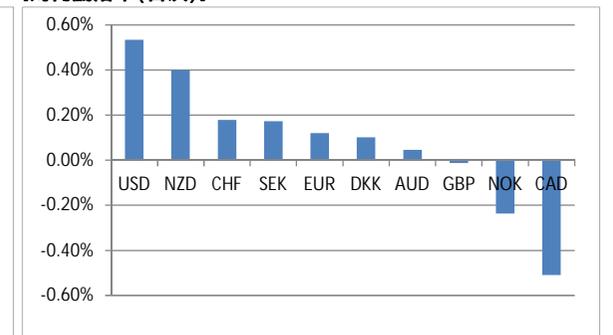
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月28日	08:50	対内・対外証券投資	-	-
	15:00	独 Gfk消費者信頼感	10月	11.0
	18:00	欧 消費者信頼感・確報	9月	-1.2
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	9月	0.1%/1.8%
	21:30	米 GDP(前期比年率)・3次速報	2Q	3.0%
	21:30	米 コアPCE(前期比)・3次速報	2Q	0.9%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	270K
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	8月	0.4%
	22:45	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 フィッシャーFRB副議長 講演	-	-
9月29日	03:00	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.20 - 113.70	1.1680 - 1.1800	131.50 - 133.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場ではドルが主要国通貨に対して上伸した。米税制改革の概要が発表されたことや米8月耐久財受注が市場予想を上回る内容となったことを受けて、ドル円は一時113円台前半まで値を上げた。その後、小緩み112円台後半で東京時間を迎えている。本日の東京時間のドル円は海外市場の流れを受けて引き続き底堅い展開を予想する。本邦では衆議院の解散が予定されており、これまでのアベノミクスに対する是非を問う選挙になろうが、本日のところは特段材料視されないであろう。